

第 40 回 歴史地震研究会 総会資料

日時：2023 年 9 月 2 日（土）

場所：小田原三の丸ホール

総 会 次 第

開会

定足数確認、会長挨拶

議長選出

第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告

幹事会から 2022 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。

監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案 会長選出

幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案 監査役選出

幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。

2023 年度会長挨拶、2023 年度役員指名

第四号議案 2023 年度事業計画および予算案

幹事会から 2023 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告

1. 2022 年度事業報告

2022 年度（2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日）は、以下の事業を行った。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（高槻大会）の開催

以下の通り、第39回歴史地震研究会（高槻大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：関西大学 高槻ミューズキャンパス

日程：2022 年 9 月 17 日(土)～19 日(月)

17 日：研究発表会・総会

18 日：研究発表会

19 日：巡検

参加者は約 75 名だった。発表数は口頭 34 件。

② 歴史地震研究会（小田原大会）の開催準備

第40回歴史地震研究会（小田原大会）の開催に向けて準備した。

主催：歴史地震研究会

会場：小田原三の丸ホール（小ホール）

日程：2023 年 9 月 1 日(金)～3 日(日)

1 日：研究会・懇親会

2 日：研究会・総会

3 日：巡検・公開講演会

(2) 会誌の刊行

2023年7月31日に『歴史地震』第38号を発行した。論説7編、資料7編、報告4編、講演要旨25編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は248ページであった。

発行部数は450部。発行時の会員（長期会費未納会員を除く）255名および無償送付先（大学・公立図書館等）123箇所を送付した。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った。

① 歴史地震研究会ホームページ

ホームページを運用中である。2022 年度中の主な更新内容は、『歴史地震』37 号（2022）の PDF 版の掲載、総会と幹事会議事録の掲載、第 40 回歴史地震研究会（小田原大会）の案内の掲載である。

② 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開シンポジウムについて、日本地球惑星科学連合・日本地震学会・日本活断層学会・日本地質学会・史学会・人文地理学会・日本史研究会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載および掲示を通して告知を行った。

③ メーリングリストの管理

研究会メーリングリストおよび「musha」への登録・更新・不達のチェックなどを行った。

④ 問い合わせの対応

研究会への問い合わせについて対応を行った。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

功績賞授賞者 1 名（都司嘉宣会員）を幹事会で決定し、2023 年 9 月 1 日（金）に授賞式を行う。

(5) その他

① 総会

2022 年 9 月 17 日（土）に総会が招集された。総会参加者は 51 名、委任状提出 46 名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』38 号に収録した。

② 幹事会

2022 年度は、以下 5 回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行われるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』38 号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2022 年 8 月 12 日（2022 年度第 1 回歴史地震研究会幹事会）

2022 年 11 月 4 日（2022 年度第 2 回歴史地震研究会幹事会）

2023 年 1 月 25 日（2022 年度第 3 回歴史地震研究会幹事会）

2023 年 4 月 18 日（2022 年度第 4 回歴史地震研究会幹事会）

2023 年 7 月 6 日（2022 年度第 5 回歴史地震研究会幹事会）

③ 社会貢献活動

2008 年に第 25 回つくば大会と連動して「地図にみる関東大震災」が国土地理院「地図と測量の科学館」で開催された。本年、大正関東地震百周年にあたり、本展示のパネルや図録中の図を、夏休み向け企画展示で再利用したい、という希望が国土地理院から寄せられた。研究会として当時の執筆陣の了解を得て一部の改訂を行い、7 月 19 日から 10 月 1 日まで開催されている「関東大震災 100 年 -地図に残る地殻変動と被災状況-」に提供した。

2. 2022 年度決算報告

2022 年度（2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日）の決算は次表のとおり。

歴史地震研究会 2022年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2022年度会費	1,016,000	1,012,000	▲ 4,000	4000円×253名
	2021年度会費	0	24,000	24,000	4000円×6名
	2020年度以前会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	2023年度会費	0	100,000	100,000	4000円×25名
	2024年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌バックナンバー代	0	13,270	13,270	会誌6部・要旨集3部
	会誌口絵代・超過頁代	0	23,000	23,000	口絵×1
	2022年度高槻大会剰余金	0	32,602	32,602	
	寄付他の収入	0	8,887	8,887	学術著作権協会より
	前年度繰越	3,569,558	3,569,558	0	
合計		4,585,558	4,803,317	217,759	

支出	2022年度高槻大会関係費	100,000	0	▲ 100,000	剰余金のみ
	次年度以降大会準備費	150,000	4,128	▲ 145,872	小田原会場視察旅費
	苫小牧講演会経費	150,000	75,305	▲ 74,695	旅費・会場費
	歴史地震38号印刷・発送代	810,000	862,444	52,444	450部
	歴史地震編集費	25,000	5,000	▲ 20,000	査読料
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	該当者なし
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	10,870	▲ 19,130	資料送付料・他
	合計	1,575,000	967,132	▲ 607,868	

次年度繰越金	3,010,558	3,836,185	825,627	
--------	-----------	-----------	---------	--

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、佐竹健治氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、植竹富一氏および諸井孝文氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案 2023年度事業計画および予算案

1. 2023年度事業計画案

2023年度(2023年8月1日～2024年7月31日)は、以下の事業を行う計画である。

(1) 研究成果発表会および講演会

① 第40回歴史地震研究会（小田原大会）の開催

第40回歴史地震研究会（小田原大会）を小田原三の丸ホール（小ホール）において開催する。

② 第41回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第41回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：木曽町文化交流センター 多目的ホール（予定）

日程：2024年9月13日（金）～9月15日（日）（予定）

13日：研究発表会 ※公開講演会は未定

14日：研究発表会

15日：巡検

1984年長野県西部地震40周年にあたり、御嶽山の麓で研究会を開催する。巡検は40年前の爪痕を巡るコースを検討中。会場周辺の宿泊施設等は潤沢でないため、地元の観光協会に斡旋を依頼する予定。詳細が決まり次第、会のウェブサイト順次掲載し、会員にメール連絡を行うので、登録中のメールアドレスが変更になる方は、速やかに変更届を提出されたい。

③ 第42回歴史地震研究会の開催準備

第42回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2) 会誌の刊行

会誌『歴史地震』第39号を2024年7月末頃に発行する。第40回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集するが、第39回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は会誌編集規定に沿って行う。『歴史地震』第39号の原稿の締め切り日は2023年11月30日（木）である。

(3) 広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。なお、会員向けのお知らせは、件名に「[mem_hes:*****]」（*****は通番）がついているメールである。未登録者は連絡いただきたい。通常は幹事会からの案内のために使用し、配信には広報担当の確認が必要である。また、メーリングリストmushaについても運営・管理を行う。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5) その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2023年9月2日（土）の総会および監査役を招いた年間5回程度の幹事会を開催する。

2. 2023 年度予算案

2023 年度（2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会 2023年度 予算案

項目		金額	内訳
収入	2023年度会費	884,000	4000円×221名(会員246名-納入済み25名)
	前年度繰越	3,836,185	
	合計	4,720,185	

支出	2023年度小田原大会関係費	100,000	1900円×450部 査読料, 編集補助謝金等
	次年度以降大会準備費	150,000	
	歴史地震39号印刷・発送代	855,000	
	歴史地震編集費	25,000	
	HP管理費	10,000	
	会議費	200,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	
	合計	1,470,000	

次年度繰越金		3,250,185	
--------	--	-----------	--

説明資料

(1) 2022 年度会計監査報告書

歴史地震研究会

会長 松浦 律子 様

2022 年度会計監査報告書

歴史地震研究会 2022 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常適正に処理されていることを確認いたしました。ここに報告いたします。

以上

2023 年 8 月 9 日

会計監査

中 村 操 

会計監査

植竹 富一 

(2) 会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数 258 名に対し、2022 年度には以下に示す新規入会者 11 名、退会者 11 名があった。さらに 2022 年度会費の滞納によって 2023 年度の会員特典を停止された 18 名を減じ、休会及び除名からの復会 2 名と 2022 年度の会員特典停止からの復活 4 名を加えて、2022 年度末の会員数は 246 名となった。また 2021 年度以降の会費が未納の会員 7 名は、会則第 11 条第 2 項に則り除名とした。

一方、2022 年度会費は 257 名からの受取があり、これは 2022 年度末までに会費納入義務のある会員 275 名（2021 年度末会員 258 名＋入会者 11 名＋復会 2 名＋復活 4 名）の約 93%に相当する。

会員の現況

2021年度末会員数	258名
2022年度末会員数	246名
増減	▲12名

会員数増減の内訳

■新規入会者:11名

菱木風花	中川喜弘	前奎英明	高橋潤	藤澤匡樹
太田彰	鶴哲郎	清水美帆	水松啓太	本多亮
板東大生	(敬称略, 申請順)			

■退会者:11名

山村紀香	田中麦子	森本晴夫	石村大輔	梶原洋
本吉正宏	近藤斎	岡村吉彦	工藤路江	森川淳
諏訪由紀子	(敬称略, 届出順)			

■2022年度会費滞納につき2023年度会員特典停止:18名

■休会及び除名からの復会:2名

■2021年度会費納入につき2022年度会員特典復活:4名

■2021年度以降会費未納につき2022年度末除名:7名

会費受取状況

2022年度会費	257名 (会員275名*1の93%)
2023年度会費	25名
2024年度会費	1名

*1) 2021年度末258名＋入会11名＋復会2名＋復活4名

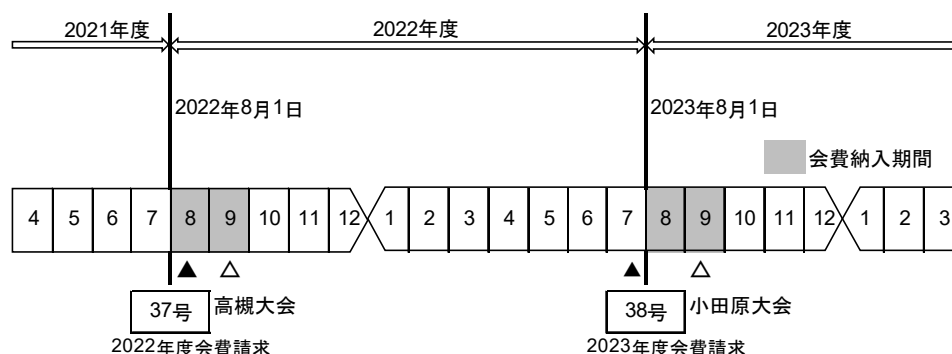


図1 歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2022 年高槻大会の収支報告

2022 年高槻大会（2022 年 9 月 17 日～19 日）の収支概要を次表に示す。

2022年度高槻大会収支報告

項目		合計	内訳
収入	参加費(会員)	68,000	1000円×68名
	同(非会員)	14,000	2000円×7名
	巡検参加費	60,000	3000円×20名
	助成金	145,596	関西大学より
	合計	287,596	
支出	予稿集印刷費	86,196	(株)イセブ, 770円×100部+発送料+税
	巡検バス代	47,300	日本キャリー観光(株)
	巡検保険料	18,564	近畿日本ツーリスト, 476円×39名
	巡検講演料	40,000	NPO阿武山地震・防災サイエンスミュージアム
	アルバイト代	59,400	9900円×2日×3人
	文具代	1,380	レーザーポインタ
	雑費	1,824	予稿集・備品郵送料, 切手代
	振込送料	330	165円×2
	合計	254,994	
収支差額		32,602	剰余金